

これは保科正之になり、神仏分離が行なわれて蓮華寺を離れた。

3、八幡神社、熊野神社の由来 元徳元年（一三二九）下荒井築城の際、前領地の耶麻郡叶荘八幡の地から、当時の下荒田、現在の宮の下八幡宮と一緒に、三の丸の西北隅に奉遷したと伝えている。宮の下



下荒井の樹令数百年に達する熊野神社の杉森

八幡にも天文二十四年の棟札が残っているが、同月日のものがここにも次のようにみえる。

大沼郡西十三村之内下洗

井八幡宮修造成

榜曰

富田美作守 藤原滋実

日出山豊後守 平実顯

崇八幡之神靈

九月二十九日

天文二十四年（一五五五）乙卯歲

修理之

廃城になっても残っていたものを、寛文年間（一六六一〜六七二）

藩公の命によって服部安休が熊野神社に合祀して、今は三の丸八幡前という地名だけが残っている。



飯豊山護摩符